

情報トピックス

●行事案内

暑さと衣服 — 民族衣装に見る涼しさの工夫
〈会場〉文化学園服飾博物館
〈会期〉2011年7月5日(火)~9月24日(土)
ただし、8月13日(土)~20日(土)は夏季
休暇のため休館

近年の猛暑はこれまでの衣服や装い方では対応しきれなくなっています。暑さをしのぎ、快適さを求めるための工夫を、東南アジアやアフリカなど、暑い季節が長い地域の民族衣装に探ります。永年の民族の知恵によって素材や形態が暑さに対処できるように工夫されている民族衣装からは、現代においても有用な方法を多く見出すことができます。文化・衣環境学研究所の協力によって、伝統の中にある科学的な要因を検証し、現代の衣服への応用も考察します。(同博物館ホームページから)。詳細は同博物館へ、お問い合わせください。

文化学園服飾博物館
TEL: 03-3299-2387 FAX: 03-3299-2602
Home Page:
<http://www.bunka.ac.jp/museum/hakubutsu.htm>

●新刊図書紹介

ストリートファッション論
—日本のファッションの可能性を探る—
渡辺明日香(共立女子大学)編著, 産業能率大学出版部刊, A5判並製, 248ページ。ファッションを生み出した社会や人々の価値観といった、時代的背景と歴史の変遷を理解し、現代ファッションが今後どう変化していくかについて考察した。参考までに目次を紹介する。

- プロローグ 人はなぜ衣服を着るのか?
第1章 ファッションの特質—ファッションとは何か?
第2章 ファッションにおける循環性
第3章 ファッションビジネスのしくみと変容
第4章 現代ファッションの流れ—戦後から現在までのファッション
第5章 ファッションを伝達するメディア
第6章 街とファッションを考える
第7章 これからのファッションを考える

ISBN 978-4-382-05648-0, 価格 2,000円+税。
2011年4月刊。お問い合わせは、お近くの書店か

産業能率大学出版部 (TEL: 03-6266-2400,
FAX: 03-3211-1400, ホームページ <http://www.sannopub.co.jp/>) まで。

●自動人体測定機「シムキヤドII」

フランス産業情報プレスリリース, No.331456
(2011年5月)(在日フランス大使館企業振興部
広報室提供)

フランスのテルマト社 (Telmat Industrie) が開発した「シムキヤド (SYMCAD) II」は、顧客の体型を無人で自動的に測定できる、革新的装置である。特長として、非常に迅速かつ正確な測定が可能である。被験者が測定室に入ると、測定に最適な体形を自動音声で指示し、人手を借りることなく、0.5秒で身体全体の採寸が完了する。さらに、採寸データから、110部位以上の各部位の寸法を30秒以内に抽出できる。採寸時に下着の色や人体のしみなどを判別しない特殊な光学的処理能力を備えている。この装置の利用で、顧客の試着回数を最小限に抑えて、身体に最も適合した衣服を選択できる。チェーン店で利用すれば、在庫の最適化や顧客のリピート率の向上が期待できる。詳細は、下記へお問い合わせ下さい。

Mr. Gilbert Dudkiewics / CEO
Tel: +33 3 89 6213 36
E-mail: sylvie.henry@telmat.fr
URL: <http://www.telmat.com>

●環境条件が布の水蒸気透過性に及ぼす効果

J. Huang ほか; J. Text. Inst., Vol. 102,
pp.50-56 (2011-1)

布の水蒸気透過性におよぼす物理的環境因子には、気温と関係湿度、風速がある。そこで本研究では、これら3因子が水蒸気拡散係数に及ぼす影響を実験的に検討した。まず気温は10~30℃を5℃間隔で設定した。関係湿度は0~50%、風速は0.1~0.4 m/sまで変化させた。試作試験機を使用して、3因子を組み合わせた120条件について4種類の試料の水蒸気透過性を測定した。測定結果によれば、気温が変化しても水蒸気透過性は、ほとんど変化なかった。一方、微小孔膜をラミネートした生地と、通気性のある生地では、関係湿度が増えると、水蒸気拡散抵抗が徐々に増加する傾向が見られた。他方、親油性の膜をラミネートした生地の水蒸気拡散抵抗は関係湿度により決まった。関係湿度が高い場合、この生地の水蒸気拡散抵抗は、低い値を示した。最後に、風速が低い場合には、4種類の生地とも、水蒸気拡散抵抗は高かった。